

研究課題名：未破裂脳動脈瘤の脳血管内治療における RASS・FS・NRS を用いたブプレノルフィンとペンタゾシンの鎮静・鎮痛効果 後ろ向き調査から見てきた患者の安楽の検討に関する情報公開

1．研究の対象

2020年6月1日～2021年5月31日に当院で脳動脈瘤カテーテル治療を受けられた方

2．研究目的・方法・研究期間

研究目的

鎮痛・鎮静薬の変更によって治療時の苦痛をより多く取り除くことができたかどうかを明らかにすることを目的とします。

研究方法

2020年6月1日～2021年5月31日に当院で脳動脈瘤カテーテル治療を受けられた方を対象とします。ペンタゾシンを使用した患者さんとブプレノルフィンを使用した患者さんとで、診療録から臨床情報（治療部位、治療中の疼痛スコアや血圧、脈拍、副作用の出現の有無等）を後方視的に収集します。使用した薬剤によって、疼痛スコアや副作用の出現の有無などに差が生じたかを検討します。

研究期間

実施承認日～2023年12月31日

3．研究に用いる試料・情報の種類

研究に用いる試料はありません。

研究に用いる情報は、治療部位、治療方法、術中の痛みの数値（疼痛スコア）、血圧、脈拍等があります。

4．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

名古屋大学医学部附属病院 中央放射線部

竹下真由美（研究責任者）

中野妃奈（研究代表者）

（電話 052-744-2533、ファックス 052-744-2561）